



令和3年もひと月が過ぎ、2月を迎えました。例年2月はインフルエンザでの学級閉鎖でお休みが多くなる時期ですが、今年は罹患されたというお知らせもなく、皆さん元気に通われています。

HUGの利用も一ヶ月が過ぎ、日々の記録に慣れつつあります。これまでご面談時以外では、支援計画目標への進捗についてお伝えする機会をあまり持てませんでした。毎回お子さまの頑張りや、成長の様子をご覧いただけるのを嬉しく思います。

1～2月は、4月から小学校に進学される方の見学があり、すでに何名かのご利用が決定し、新学期が楽しみです。一方で、3月にれいんぼーを卒業する方のお送りをする準備の時期でもあり、毎年寂しい気持ちになります。過去の記録を整理する度に、大きな成長に驚かされるとともに、就学期間という貴重な時期に、より良い支援ができるよう、気持ちを新たにしています。

今号は1月の活動を振り返ります。どうぞお楽しみください。



季節のあそびを楽しみました!



毎年1月の最初の週には、子どもも大人も「書き初め」体験をして頂いています。学校でまだ毛筆を習っていない子も、大筆、小筆を使って長半紙に向かいました。

墨のつけすぎや、かすれに気づいて、墨の量を調節したり、手を汚さないように半紙を押

さえ、紙を破らないように力を加減する、など、書き初めは、色々な気づきや訓練の要素があります。また、ひとりひとりの個性や気持ちが表現される作品でもあり、毎年の書き初めを比べると、その子の一年の成長を感じることもできます。ぜひご家庭でも一緒に筆をとってみてください。ちなみに、今年、一番多く書かれた言葉は、「お年玉」でした。伝統的なお正月遊びとして、「福笑い」も楽しみました。感染対策に、個別の目隠しを画用紙で作って



準備しました。



おたふく、ひよっこ、といった伝統的な福笑いに加えて、みんなの好きなアニメのキャラクターも準備。マスクを外した時の驚いた表情や笑い声で盛り上がりました。なぜか、目隠しを気に入ってくれて、持ち帰る子もいました。



れいんぼー

1月の活動プログラムより

1月の**工作プログラム**では、プラバン・キーホルダーを作りました。今回は市販のキットを使ったり、好きな絵や写真をプラバンに印刷したりしてモチーフを作り、仕上げにUVレジンで艶を出し、満足度の高い作品に仕上がりました。**料理プログラム**は、バレンタインに向けて、チョコ蒸しパンを作りました。マフィンの型に粉・ココア・卵・牛乳を混ぜて流し、チョコやナッツを入れて電子レンジで膨らませます。中に入れたチョコがとろーりとろける、美味しいチョコ菓子で、今回もたくさんレシピのリクエストを頂きました。

音楽プログラムは、冬のおでかけをテーマにした**リトミック**を楽しみました。リトミックが初めての子も多いなか、音が止まったら動きを止めるなど、直感的に音に合わせて動きました。深い雪に足が埋まりながら歩く様子や、小さな雪玉をころがして大きな雪だるまを作るなど、イメージを膨らませて表現しました。**英語プログラム**は、昨年耳にする機会が多かった Go to Travel をヒントにして、室内に身近な街や観光地の絵カードを貼り、行く、飛行機で行く、這って行く、など、「to (~へ)」という単語に親しむ遊びをしました。

ゲーム大会・運動プログラムは、じゃんけん列車やバスケットゴールで、短時間で身体が温まるメニューが人気でした。また、冬休み期間には、近場の公園に出かけて、遊具遊びを楽しみました。**自由あそび**の時間は、カードゲームやすごろくなどのボードゲームで、いつもはあまり一緒に遊ばない子や年の離れた子がグループになって遊ぶ機会をたくさん持てました。

